


市長のタウンミーティング 村木地区

(敬称略)

	<p>開催日時 令和元年10月24日(木) 19:30～21:40 会場 村木公民館 参加人数 58名</p> <p style="margin-top: 20px;">開会挨拶 村木地区振興協議会会長代行 柴垣 尚一 書記 宮本 祐子</p>
---	---

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	村木	公共施設	廃止予定の総合体育館利用者が使える代替施設は確保されているのか。
2	村木	公共施設	地区運動会について、日程が統一されているが、日程の変更はできないのか。地区によって日程をずらせば、ありそドームや桃山運動公園などの公共施設を借りて運動会ができるのでは。
3	村木	市職員の給料カット	市職員の給料カットは5000万の削減という表し方でなく、具体的な表し方のほうがいいのではないかと。(市長は20%カット、副市長は15%カットなど)
4	村木	財政健全化	財政状況については数年前からわかっていたはず。わかっていたのに、今まで説明がなかったやろうとした人がいなかったのでは？また、確実に計画通りに推進できるのか。
5	村木	財政健全化	市の資産売却はしないのか。
6	村木	ふるさと納税	人件費を減らす分、人を雇うなどして有効活用し、ふるさと納税にもっと力を入れてはどうか。ふるさと納税を増やすやり方を考えてはどうでしょうか。
7	村木	企業誘致	市内では、敷地内が空いている事業所もある。そういうところに、企業を誘致してはどうか。固定資産税の税率を安くするといった条件をつけるなどして、誘致してはどうか。
8	村木	ふるさと納税	ふるさと納税には、せっきくの寄附なので職員にはもっと専門知識が必要。
9	村木	生活環境	高齢生活困窮者(生活保護者)へのエアコン費用の一部助成を、市、県、国に要望したい。
10	村木	防犯対策	中央通り商店街のアーケードが撤去され暗くなるので、防犯カメラの設置と人感自動点滅蛍光灯の設置をお願いしたい。
11	村木	交通環境	運転免許証の自主返納について。去年までは返納の特典が2万円でしたが、今年から1万円になった。他市町村より条件が悪く感じるがどこで検討しているのか。

その他に4件のご意見あり

令和元年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	村木地区	日時	10月24日(木) 19時30分より 21時40分まで		参加者数	58名
会場名	村木公民館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	税務課 宮本 祐子	
市側の出席者	市長 村椿 晃 副市長 四十万 隆一 教育長 畠山 敏一 各部長ほか	地区からの 主な参加者	地域振興会長代行、各種団体関係者ほか			

1. あいさつ

村木地区振興協議会 会長代行 柴垣 尚一

2. 市長談話

市長 村椿 晃

- ① 「行財政改革の推進」について
 - 人口推移・推計・市の目標について
 - 財政状況について
 - 財政健全化計画について
 - ・公共施設の再編及び使用料の見直しについて
 - ・職員数の削減について
 - 産科構想の中止について

- ② 「魚津市総合計画の策定」について
 - 特定政策分野における取組について
 - ・子育て支援
 - ・教育環境の充実
 - ・観光振興
 - ・産業振興
 - ・魅力的なまちづくり
 - 人口減少・高齢社会対策について
 - ・移住・定住の促進
 - ・健康づくりの推進
 - ・誰もが暮らしやすいまちづくりの推進
 - 市民意識調査の結果について
 - 地域づくりの経過と各地区における事業について
 - 次期総合計画の策定について

3. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

◆「行財政改革の推進」について

○代替施設について

総合体育館がなくなるということで、最近村木公民館にも体育館の使用について問い合わせがきています。総合体育館がなくなるとその利用者が使える代替施設は、確保されているのでしょうか？

（村椿市長）

教育委員会の担当課と話をしており、どの競技がどの体育館を使用するかという相談をしている最中です。ボリューム(量)は問題ないと思っています。

競技団体と話をしているので、利用する皆さんにもしっかり伝えることが一番大事だと思っています。

○地区運動会について

地区運動会について、日程が（10月の第一日曜日に）統一されています。日程の変更はできないのでしょうか？ある地区はありそドーム、ある地区は桃山運動場を使っていると聞きました。日程をずらせば、わざわざ狭いところでなくても、公共施設を借りて運動会ができると思います。

（企画総務部長）

運動会の日程は、各地区におまかせしています。例えば片貝は、9月末に行っていました。ただ10月の土日は、いろいろなイベントがたくさんあるので、ばらばらにするよりもたまたま全地区で同じ日程になっています。

○市職員給料カットについて

資料にある市職員の給料カットは、5年間で5,000万円でしょうか？具体的な表し方のほうがいいのではないのでしょうか？例えば、市長は30%カット、副市長は20%カットなど

（村椿市長）

市長が20%で、副市長が15%、教育長が10%。部課長が5%のカットとなっています。人件費が25億円くらいかかっています。そのうちの5,000万円をカットするので、2%くらいです。また、議員も月額報酬をカットしています。

（企画総務部長）

議員も月額報酬をカットしています。

○市の財政状況の説明について

市長の説明は大変納得いくものです。市役所の役職の人は、財政状況については数年前からわかっていたはずですが、わかっていたのに、今まで説明がなかったと思います。やろうとした人がいなかったのではないのでしょうか？

また、確実に、資料の計画通りに推進できますか。約束できますね？

（村椿市長）

厳しいという意識は、皆さんと共有していました。ただ、正直申し上げて、短期間で、学校の統合がらみの事業がかなり集中しました。当初予定していた経費よりも増額したり、統合に合わせて、まわりの各地区・公民館などの要望に対応したりと、市は必死に頑張っ

ていました。そのような中で、大雪となり、除雪費がたくさんかかりました。

一番わかりやすいのは、万が一のときの基金が減ったことが辛いことです。しかし、基金残額を元に戻せば、心配することはありません。平成 27～30 年度で、市は、かなり頑張っていて事業をやってきました。ありそドームを造った 2000 年ごろも、とても大変でした。

財政が厳しいことはわかってはいましたが、学校の統合は合意を得てやってきたので、やめることはできません。やり始めたらお金がかかってしまった。これが、魚津市が苦しくなった真実の姿です。

計画については実行できますし、貯金も一定の水準に戻します。痛みを伴うかもしれませんが、一緒に頑張ろう、ということはこれからも言っていきます。

○市の資産売却について

財政健全計画の中にはありませんが、市の資産売却はしないのですか？

(村椿市長)

おっしゃる通り必要です。公共施設を見直すことによって、市として使わない不動産もでてきます。積極的に民間に貸す、場合によっては売るなどしていきたいと思います。

○ふるさと納税について

魚津のふるさと納税は 1,800 万円くらいです。その前より増えましたが、氷見は 2 億円の税収があったそうです。自治体の大小・規模は関係なく、一生懸命やるかどうかです。人件費を減らす分、人を雇うなどして有効活用し、ふるさと納税にもっと力を入れてはどうですか？ふるさと納税を増やすやり方を考えてはどうでしょうか？

(村椿市長)

ふるさと納税額は、これまで魚津市はあまり多くありませんでしたが、今年に入ってインターネット上の窓口を 1 つから 5 つに増やしたところ、とたんに納税額が増えました。今年の 4～9 月で 1400 万円です。去年は 1 年間で 1800 万円であり、今年度の目標は 5000 万円超です。氷見にできて魚津にできないことはないと思っています。

返礼品の品ぞろえが影響しますので、魚津の美味しい食や工芸品など、魅力あるものを増やしていきたいです。まずは 5,000 万、次は 1 億円を目指していきたいです。

○企業誘致について

市内では、敷地内がガラガラに空いている事業所もあります。そういうところに、企業を誘致してはどうでしょうか？

固定資産税の税率が、他市よりも 1% 高いです。高い分を安くする(還元する)といった条件をつけるなどして、誘致してはどうでしょうか？

(村椿市長)

企業誘致は大事です。魚津の課題は、若い女性が減り続けていることと、若い女性が減ることで子どもの数が減り続けていることです。魚津駅前に三菱日立ツールのドリルの会社が、来年の再操業に向けて事業所を立ち上げています。地元の若い女性 2 人の雇用も確保しているそうです。

若い女性が働ける事業所が人口減対策に有効だと思っています。市内の事業所にも女性が働きやすいよう協力を求めています。

また、新しい企業の誘致に加え、今ある企業が拡張して雇用を増やすことも大事です。

そういった企業の相談にも対応・応援していきます。

○ふるさと納税の専門知識について

先日、税務課にふるさと納税について聞きに行ったところ、返ってきた答えが納税のことばかりでよくわからず、企画政策課の方に聞いてやっとわかりました。せっかくの寄附なので職員にはもっと専門知識が必要です。

また、魚津市民は、魚津市にふるさと納税できるのですか？

(村椿市長)

市の職員がきちんと説明できることは大事です。わかりやすい説明を心がけたいと思います。

ふるさと納税では、魚津市に納税する人よりも、魚津市民で他市に納税する人のほうが多くなっています。

(企画総務部長)

魚津市民でもふるさと納税はできますが、返礼品はありません。

◆「魚津市総合計画の策定」について

○高齢生活困窮者(生活保護者)へのエアコン費用の一部助成について

今年の夏は猛暑で、熱中症が心配でした。特に、高齢生活困窮者(生活保護者)の方の自宅には、エアコンがない場合もあります。エアコンをつける費用の一部助成を、市、県、国に要望したいです。

(民生部長)

生活保護の方への支援についてお答えします。

これまで国は、冷暖房設備の設置費は給付費用の中でやりくりするよう定めていました。しかし、近年の猛暑で高齢者の熱中症が多いことから、平成28年6月27日に国から通達があり、生活保護受給世帯でも一定の条件を満たす場合は、5万円までの支援が認められました。この通達を受け、本市でも1件の設置に至りました。

しかし、通達前から保護を受けている世帯は支給の対象にはなっていないので、国、県に支援拡充の要望をしていきたいと思っています。

○中央通り商店街のアーケードの撤去について

中央通り商店街のアーケードが撤去されますが、その後の防犯カメラの設置と、暗くなりますので、人感自動点滅蛍光灯の設置をお願いします。

(民生部長)

防犯カメラは、通学路など、お子さんの安全を確保するため、危険箇所から優先的に設置しています。現在、中央通り商店街には市の防犯カメラはありませんが、早急に必要であれば、県警で防犯カメラのレンタルをしており、一定期間お貸しできるそうです。魚津警察署にお問い合わせください。

あくまで市で設置してほしいということであれば、環境安全課にご相談ください。現地確認をし、必要性を判断してからになります。

夜間照明については、昨年秋に商店街海側のアーケードを撤去された後、防犯灯の要望があり、現地確認をしたうえで、2箇所設置しました。

なお、市では経費と環境にやさしいLEDを推奨しており、人感センサーの灯具につい

ては、経費などの面で有利か研究したいと思います。
防犯灯設置の要望やご相談については、同じく環境安全課までお願いします。

○運転免許証の自主返納について

運転免許証の自主返納について。去年までは返納の特典が2万円でしたが、今年から1万円になりました。他の市町村は、富山市以外2万円で、黒部市では、終年と聞いています。こういったことは、どこで検討しているのでしょうか？

(民生部長)

自主返納については、魚津市では平成30年9月末の時点で93人、本年9月末の時点で94人となっており、特典の金額が少なくても返納される方の人数はそれほど変わりません。

返納される方の理由は、アンケートを実施した結果、運転が不安だったり、家族と相談したりと、特典には関係ないようです。高齢者の足(交通手段)を確保することが大事だと思っておりますので、公共交通への対策をしっかりとしていきたいと思います。

なお、検討については、まずは担当課で原案を作成し、関係機関と協議します。市議会に予算案を出します。市民バスについては公共交通活性化会議で協議します。最終的には、議会の承認を得て決定しています。

○危険な空き家について

中央通りにある店舗の跡地は、代表者が死亡し空き家となっており非常に危険です。児童の通学路にもなっています。窓枠もろとも落下しそうです。危険な空き家に対して行政の安心安全対策をお願いします。

(産業建設部長)

当該箇所の通学路の安全については、その歩道を通らないように、通学路の変更で対応していきます。県道なので、土木センターにお願いし、通行止めのバリケードを設置しています。危険な空き家ではありますが、個人の財産なので、市で勝手にできないのが現状です。特定空き家に認定できるか、弁護士の先生とも相談してきましたのですが、壁面が隣の住宅とつながっている(共有している)ので、空き家の部分だけを切り出して認定することは、現在の法の下ではできません。市では、国へ働きかけて、法の改正を要望していきます。

危険な店舗の空き家について、法律の壁はよくわかります。今までは一方的に要望してきましたが、これからは市・県・地元を交える機会を設けて、費用負担や相互扶助、最低限の安心が確保できる施策などを考えてほしいです。

(村椿市長)

法律の世界ではなく、所有者の了解を得て安全対策をみんなで考えようというのはこれまでにはない視点なので、ぜひやっていきましょう。

○防災スピーカーについて

港町公園にある防災スピーカーが、平日ほとんど何を言っているか聞こえません。各家庭に配置してある農協の無線スピーカーのようなことができないもののでしょうか？

(企画総務部長)

聞こえないという声はよく聞きますが、防災スピーカーだけが頼りではないと思っていただきたいです。性質上、風向きや天候などで聞こえないこともあります。「何か言っているな」ということで、行動を起こしてほしいです。23-1118に電話すれば、まったく同じ内容を聞けるので、情報をつかんでほしいです。また、緊急情報をメール配信しています。現在登録者は1,800名ほどです。市のホームページでもアップしています。NHKやCATVでも流れています。

市では、警報級の情報を発信しています。余裕があればテレビを見ていただき、余裕がなければ近所で声をかけ合って逃げるなど行動してください。

なお、自主防災や町内会の会長宅、孤立世帯になる恐れがある方など、屋内の受信機を市内で1,000世帯に設置しています。まだ400個在庫がありますので、ご希望の方はご相談ください。

○学校統廃合後のアフターケアについて

学校統廃合後のアフターケアがなっていないと思います。残された地域住民のことを考えて、それなりのケアをしてください。木の剪定や防虫処理など、少なくなっています。残されたもののアフターケアをしないと、住みやすいまちでなくなります。

現在、1人だけ、ボランティアで剪定作業をやっていただいています。

(教育長)

要望はごもっともと認識しています。村木公民館は、昨年7月に害虫への薬剤散布を行っています。また、今年の7月には、高木への剪定を行い、イチョウ2本、ヤナギ1本を剪定しました。剪定は高所作業車と使うので、非常にお金のかかる作業です。公民館への予算で対応していますが、他地区からも要望がたくさんあり、優先順位をつけて対応しています。

村木公民館は、高木も多く、周囲に民家も多く木々に迫っているため、村木だけとは言えませんが、予算の範囲内で対応していきたいと思います。また、できることなら、低くて簡単なところは、地区の皆さんでボランティアを行ったり、まちづくり交付金を使ったり環境整備にご協力いただきたいです。

○文化財について

火祭りが文化財になっていません。御幣づくりは30数か所で実施されています。2、3回申請していますが、文化財になっていません。また、市内にある松倉金山を活かし、佐渡や石見などと一緒に金鉱サミットをしてはどうでしょうか？市でぜひ提案してください。

(村椿市長)

文化財は大事です。魚津市では、東山円筒分水と蜃気楼海岸を登録文化財にしようと準備しています。国に認められれば、我々の誇りになります。それらを核にしていろいろな活動も出てきます。地域の文化的な価値や資源を残していきたいです。頑張ります。